

## 9. ミナミキイロアザミウマの天敵であるタバコカスミカメに影響の少ない殺虫剤の選定

### [要約]

露地ナス栽培で使用される主要殺虫剤6剤のうち、アディオオン乳剤、アフーム乳剤及びコルト顆粒水和剤は散布3日後にタバコカスミカメを放飼しても影響が認められない。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 病虫研究室

[連絡先] 電話086-955-0543

[分類] 情報

---

### [背景・ねらい]

県南部の露地ナス栽培において、害虫カスミカメムシ類やテントウムシダマシ類等には薬剤による防除が必須であるが、これらの剤の多くは天敵であるタバコカスミカメにも殺虫効果がある。そこで、タバコカスミカメに対する影響期間を明らかにし、天敵と殺虫剤を組み合わせた安定的かつ効果的な害虫防除体系の確立を目指す。

### [成果の内容・特徴]

1. 供試した6剤のうち、アディオオン乳剤、アフーム乳剤及びコルト顆粒水和剤の3剤は、散布3日後以降にタバコカスミカメを放飼しても影響を認めない(表1)。
2. コテツフロアブル及びトルネードエースDFは散布14日後、ダントツ水溶剤は散布21日後の放飼まで影響がある(表1)。

### [成果の活用面・留意点]

1. 本試験は2015年7月7日～8月14日に、降雨の影響を受けない雨除け条件下で行った。
2. タバコカスミカメを安定的に定着させるには、各剤の影響期間経過後、1週間程度の間隔で複数回(2～3回)放飼することが望ましい。
3. 農薬混用時の影響は確認していない。

[具体的データ]

表1 タバコカスミカメに対する各種薬剤の影響日数<sup>z</sup>

供試薬剤 (剤型)	希釈倍数	散布後日数	影響評価 <sup>x</sup>	
			成虫	幼虫 (3~4齢)
アディオン (乳剤)	2,000	3日後	-	-
		7日後	-	-
		14日後	-	-
		21日後	-	-
アフーム (乳剤)	2,000	3日後	-	-
		7日後	-	-
		14日後	-	-
		21日後	-	-
コテツ (フロアブル)	2,000	3日後	-	-
		7日後	±	-
		14日後	±	-
		21日後	-	-
		28日後	-	-
		35日後	-	-
コルト (顆粒水和剤)	4,000	3日後	-	-
		7日後	-	-
		14日後	-	-
		21日後	-	-
ダントツ (水溶剤)	2,000	3日後	++	+
		7日後	±	±
		14日後	±	-
		21日後	±	-
		28日後	-	-
		35日後	-	-
トルネードエース (DF)	2,000	3日後	±	-
		7日後	+	-
		14日後	±	-
		21日後	-	-
		28日後	-	-
		35日後	-	-

<sup>z</sup> 本試験は2015年7月7日~8月14日に、降雨の影響を受けない雨除け条件下で行った。薬剤散布後、所定の日数が経過したナス葉を採集し、タバコカスミカメ成虫及び幼虫(3~4齢)を放飼した後、25℃、60%RH、16L8Dの恒温室内に静置して72時間後の死虫率を評価した

<sup>x</sup> 国際生物防除機構(IOBC)の室内試験基準(Amano and Haseeb,2001)に準じて、補正死虫率が30%未満のものを影響がない(-)、30%以上80%未満のものを小程度の影響あり(±)、80%以上99%未満のものを中程度の影響あり(+)、99%以上のものを影響が大きい(++)と区分して影響評価した。空欄は未実施のため評価せず

[その他]

研究課題名：天敵利用による露地ナスの害虫防除体系の確立

予算区分：県単（現地緊急）

研究期間：2015年度

研究担当者：松岡寛之、西 優輔

関連情報等：1) 平成25年度試験研究主要成果、[65-66](#)

2) 平成26年度試験研究主要成果、[51-52](#)